



# 日乗連ニュース

## ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2009.04.01

No. 32 - 45

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office30@alpajapan.org

## 64<sup>th</sup> IFALPA Annual Conference, Auckland NZ

### 全体報告

3月20日~3月24日オークランドに於いて、IFALPA加盟45協会294名が出席し第64回IFALPA総会が開催されました。日本からは、IFALPA RVP NOPである石山勉機長初め、日乗連9名、JFU2名、JPU1名が日本の乗員を代表し参加しました。この全体報告に続き、今年のIFALPA総会で議論され、決定された各委員会のTopicsなどを順次お伝えしていきます。

IFALPA会長を先頭に、10名のIFALPA役員がマオリ式の歓迎を受け開会となりました。冒頭にIFALPA会長Capt. Carlos Limonは、「我々はグローバリゼーションへの挑戦を、後戻りさせてはいけません。IFALPA総会での議論、決定に基づき、各協会は結束して最高レベルの航空の安全、The Global Voice of Pilotsを自国で拓げていく活動をしなければならない」と述べました。

NZALPA会長Mark Rammellは、「NZALPAは、第64回IFALPA総会をオークランドで開催できることをうれしく思います」「オーストラリアとのオープンスカイで、カンタスがニュージーランド国内を自由に飛べるようになった。その結果カンタスが路線を増やし、さらに子会社に置き換えている。ライセンス制度、標準を下回る待遇と労働条件、安全性に影響するコストの削減などの施策には反対である」と述べました。

NZ運輸大臣Steven Joyceは、「ようこそニュージーランドへ。ニュージーランドの観光業は、重要な産業である。それを担っているのは、航空運送である。地球温暖化に十分に配慮して、燃費のよい航空機の導入、効率的な航空管制と進入方式、セキュリティの強化など政府として整備していきたい。効率的な運航は、CO2を削減でき、環境にも航空会社にもプラスである。また、フランスで起きたエアバスの事故調査においても、乗員組合との協力が不可欠であった。今後も互いに協力して、航空の維持発展に尽くしていきたい。IFALPA総会開催おめでとうございます」と述べました。

ICAO, IATA, Boeing, Airbus, IFATCA (The International Federation of Air Traffic Controllers' Associations)からもObserver参加があり、Pilotの声は航空の安全に重要な要素であると認知されています。

### New Member Association

今回のIFALPA総会で、ウクライナ Ukrainian Air Line Pilot Association (294 pilots)のIFALPA加盟が新たに承認されました。これでIFALPAの加盟総数は2009年3月24日現在で102協会(約10万人)になります。

### Compensation for the President

昨年の総会で一旦A&F委員会に差し戻された「IFALPA会長の飛行時間減少による賃金補填」である。E Committeeにおいてもかなり論議されましたが、IFALPA会長としての職務に費やした時間、飛行時間減少の検証をPresidential Compensation Review Committeeに答申し、年20,000ポンドまでを申請、審査後支給されることを決定しました。総会において、1協会の棄権がありました。



## **Election of Regional Vice-President NOP**

ALPA Japan 石山勉機長 が現職で立候補し総会で承認されました。任期は2年間。様々な国、言語、文化のアジア北太平洋地区をまとめる要職です。

## **China ALPA 会費の未払い**

中国の航空大臣が約束した、2005、2006、2007年のIFALPA年会費支払いは、実質的に協会としての活動が始まらず、2008年度には行なわれませんでした。しかし、中国政府の許可がおり口座も開設したため、2005年から2007年度分と2008年の50%合わせて£40,000の支払うことを新たに確認しました。

## **安藤真之機長 Scroll of Merit 受賞**

長年にわたる IFALPA AAP 委員会 副委員長、IFALPA Principal Officer としての貢献が認められ、Gala DinnerにおいてIFALPA Scroll of Merit を受賞されました。安藤機長は、旧 ALPA-J のみならず、日乗連との ALPA Japan 設立、2000年 IFALPA 東京総会の主催者としても活躍されました。ALPA Japan 議長からもトロフィーを授与しました。

## **B787 Program**

現在4機が工場に入り1号機がペイント中、あと30日で（2009年4月末頃）Flight Test出来る予定です。今年中に6機から7機を試験飛行して耐空証明を取った後、来年2月には1号機のDelivery予定。

20% 燃費向上の内訳は、8% Eng, 3% Composite, 3% Aerodynamic, 3% New system (no bleed sys など) 3% 上記の相乗効果です。

CompositeのMovieでは、Wing Boxの強度検査を見ることができました。設計上の加重150%を超えて検査した結果、計算通りの場所で破壊が始まりました。

## **Japan ALPA Scholarship Fund**

Gala DinnerにおいてLotto(くじ引き)を開催し、その売り上げをJapan ALPA Scholarship Fund に計上しています。ALPA Japan, Boeing, NZALPAなどが賞品の提供を行いました。今年も封筒に記名して寄付金を入れくじ引きを行いました。寄付金は\$3700 (£2,534) 集まり、合計£44,954 (約642万円) となりました。発展途上にある協会およびRegionの、今後の技術力向上に貢献する事が期待できます。

## **66th IFALPA Conference in Chiang Mai, Thailand in 2011**

投票の前夜、Thai, Cyprus 合同でHospitality Suiteにおいて誘致合戦が繰り広げられました。Audio & Visual, ダンス等による趣向を凝らしたプレゼンテーションにより、参加者を魅了しました。ALPA Japan は、Delegate による協議の結果Chiang Mai, Thailandに投票しました。総会での投票の結果、2011年総会はChiang Maiで開催することに決定しました。

2012年 Paris とSingaporeが、2015年 Madrid が総会誘致を表明しています。

来年2010年の65th IFALPA 総会は、Association Marocaine des Pilots de Ligne (AMPL) がホストとなり、モロッコのマラケシュで行われます。

## **FedEx 80 Accident**

総会開催中、FedEx 80のNRT 34L着陸時に事故が起こり、不幸なことに2名の乗員が亡くなりました。オークランドのAAP委員長代行、日乗連AAP、日乗連事務局、CISM事務局、安全会議と連携し初期対応しました。日乗連事務局のマスコミ対応、また今後の事故調査への協力を表明したALPA Japanに対し、ALPA-Int'l (US ALPA+ALPA Canada) からPlenaryの場で謝辞を受けました。

